



文学部

学部長からの挨拶

学部長

柳沢 昌紀

文学部の学びは**すべての基礎**。

幅広い興味・関心を持とう。

研究対象への興味や関心を高めましょう。

日本文学科・言語表現学科・歴史文化学科の三学科が揃った文学部の学びは、幅広く充実しており、様々な研究分野があります。

私たち日本人の思考のすべてを根底で支える日本語を基礎に、その精華である日本文学(日本文学科)、それによる表現活動全般(言語表現学科)、文献だけでなく遺跡や行事も含めた歴史文化(歴史文化学科)を研究する体制が整っています。そこで展開される多彩な学びを有効に活かすために、何より必要なのは知的好奇心。文学書や歴史書だけでなく、身の回りにあるさまざまな情報に積極的にアプローチして下さい。興味を持った対象を深く掘り下げ、新たな発見につなげる。そんな経験の継続は、きっとあなたの人生を豊かなものにしてくれます。

Learning Point



自ら調べ、考える姿勢を身につけましょう。

高校の「国語」や「日本史」「世界史」など、関わりの深そうな科目を復習しておく、誰もが思い付く入学までの準備だと思います。でも、それだけでなく、もう一步進めて下さい。大学の学びでは、「覚える」ことより「自ら調べ、考える」ことが中心になります。「おや？」と疑問を抱いたら、そのままにせず、いろいろ調べてみましょう。調べた結果を組み合わせ、自分で答えを考え、自分の言葉でまとめてみる。こうした姿勢が、あなたの大学での学びを力強く支えてくれます。

できるだけ多くの本を読みましょう。

常に身近に本、せめて何か読める物がないと寂しい。そう感じてこそ文学部の学生です。まずはジャンルは無視して、多読乱読から。下記のオススメ図書は各学科の分野に直接関わる本です。これらを含め、1冊でも多く読んで、旺盛な知的好奇心を持って入学してください。